

平成25年度 宮城県 震災復興起業支援業務 (石巻・気仙沼エリア経営支援分) 報告集



特定非営利活動法人石巻復興支援ネットワーク

1	…	目次
2	…	平成25年度宮城県震災復興起業支援業務(石巻・気仙沼エリア経営支援分)事業概要
5	…	平成25年度宮城県震災復興起業家 事業紹介 [代表者(担当者)氏名「事業所名称」(地域)]
5	…	1. 三浦有貴 「THE DAY」(石巻)
6	…	2. 渡邊享子 「石巻2.0不動産」(石巻)
7	…	3. 三浦美恵子 「あるまおいるセラピーひだまり」(石巻)
8	…	4. 阿部啓子 「NPO心と体のケアサポート・Kコラボ」(石巻)
9	…	5. 亀山英児 「かめかふえ」(石巻)
10	…	6. 神澤祐輔 「いしのまきカフェ「」」(石巻)
11	…	7. 協働マネジメント株式会社教育事業部 校塾(石巻)
12	…	8. 西條 寛 「有限会社マルイチ西條水産」(石巻)
13	…	9. 阿部ふみ 「ふみかあさんの牡鹿の味お届け便」(石巻)
14	…	10. 亀山貴一 「一般社団法人はまのね」(石巻)
15	…	11. 小尾勝吉 「愛さんさん宅食石巻事業所」(石巻)
16	…	12. 広部知森 「特定非営利活動法人応援のしっぽ」(石巻)
17	…	13. 久米徹平 「富治丸営業部」(石巻)
18	…	14. 安藤貴明 「わかめ向上委員会プロジェクト」(石巻)
19	…	15. 徳水利恵 「一般社団法人雄勝花物語」(石巻)
20	…	16. 木村優佑 「復幸まちづくり女川合同会社」(女川)
21	…	17. 山田隆大 「りぼん」(女川)
22	…	18. 熊谷美幸 「七輪屋500.com」(気仙沼)
23	…	19. 杉浦恵一 「co-bakesennuma」(気仙沼)
24	…	20. 千葉清英 「気仙沼フェニックスパッティングセンター」
25	…	21. 佐々木義洋 「気仙沼デザイン株式会社」(気仙沼)
26	…	22. 伊藤雄一郎 「特定非営利活動法人気仙沼銀河学校」(気仙沼)
27	…	23. 塩田賢一 「株式会社鹿折復幸パーク」(気仙沼)
28	…	24. 畠山 享 「一般社団法人三陸野菜」(気仙沼)
29	…	25. 清水隼人 「変幻自在合同会社」(気仙沼)
30	…	26. 石渡久師 「有限会社リアスの国から」(気仙沼)
31	…	27. 千葉 透 「七ヶ浜潮焼き」(七ヶ浜)
32	…	28. 石川洋平 「heptagram」(七ヶ浜)
33	…	29. 藤島博之 「キャッツエンター・プライズ」(南三陸)
34	…	30. 村岡絹子 「漁師の番屋」(南三陸)
35	…	31. 小楠あゆみ 「グランドラインズ」(南三陸)
36	…	32. 矢野智子 「moco made」(南三陸)
37	…	33. 小川紗絵子 「一般社団法人VOICE」(南三陸)
38	…	34. 三浦幸子 「縫い物工房みとべ」(南三陸)
39	…	35. FrankPaul 「海の森」(南三陸)
40	…	36. 高橋芳喜 「高芳丸」(南三陸)
41	…	37. 川名貴士 「スマイルカー」(涌谷町)
42	…	38. 佐藤明子 「ま〜ぶる株式会社」(仙台)
43	…	39. 高橋和香奈 「一般社団法人あおばさぼーと」(仙台)
44	…	平成24年度 起業支援対象者 活動状況一覧



平成25年度宮城県震災復興支援業務 (石巻・気仙沼エリア経営支援分) 事業概要

■平成25年度宮城県震災復興支援業務(石巻・気仙沼エリア経営支援分) 事業概要

平成25年度宮城県震災復興支援業務(石巻・気仙沼エリア経営支援分)は、被災地における「社会的課題」を解決するため、社会的起業を目指す団体等を支援し、地域における雇用の確保と自立的な経済活性化を図ることを目的として、宮城県が実施するものです。

特定非営利活動法人石巻支援ネットワークは、本事業の受託事業者として、企画・運営を担当いたしました。

■事業の実施経過及び結果の概要

1、新規起業者の選定のための「復興起業家コンペ」の実施

平成25年度に新たに起業する方への起業支援を実施いたしました。まず、起業希望者を選定するために、「復興起業家コンペ」を実施しました。

(1) 「復興起業家コンペ」公募結果

第1回	日時	平成25年11月15日～11月30日まで
	公募方法	募集要項：石巻、南三陸、女川、気仙沼、仙台を中心に200部配付など インターネット：11月12日から掲載など 広報誌等：11月15日 東北復興新聞に掲載など
	応募者	31名
	審査方法	第一次審査：書類審査 第二次審査：プレゼンテーション審査
	審査日程	第一次審査：平成25年11月30日 第二次審査：平成25年12月8日
	選定結果	15名
第2回	日時	平成25年11月15日～12月15日まで
	公募方法	募集要項：石巻、南三陸、女川、気仙沼、仙台を中心に100部配付など インターネット：11月12日から掲載など 広報誌等：11月28日 石巻日日新聞に掲載など
	応募者	41名
	審査方法	第一次審査：書類審査 第二次審査：プレゼンテーション審査
	審査日程	第一次審査：平成25年12月16日 第二次審査：平成25年12月22日
	選定結果	21名

(2) 選定評価委員

以下のメンバーにて選定いたしました。

委員長 山崎泰央 石巻専修大学経営学部教授

副委員長 兼子佳恵 特定非営利活動法人石巻復興支援ネットワーク代表理事

委員 紅邑晶子 特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター代表理事

委員 今野裕之 石巻市産業部商工観光課課長

(3) 審査

①第一次審査

書類審査を実施。審査は委員長(山崎泰央)、副委員長(兼子佳恵)の2名が担当しました。起業支援対象者選定基準に基づき、総合的に判断し、可否を判定しました。

②第二次審査

プレゼンテーションによる審査を実施しました。審査は選定評価委員の4名が担当しました。起業支援対象者選定基準に基づき、各委員が採点。60点以上の者を審査通過としました。

*なお第2回コンペ終了後、宮城県と協議の上、3名を追加審査通過者としてしました。計39名を採択しました。
(採択者の詳細は「平成25年度 宮城県復興起業家 事業紹介」(5頁～)をご参照ください。)

2、新規起業家への起業支援の実施

(1) 基礎講座の開催

創業を控えた起業希望者に対して、経営に関する基本的な知識、スキルを提供する機会として基礎講座を4回開催しました。

第1回	日時	平成26年1月18日(土) 13:30~16:30
	会場	石巻市総合体育館会議室 (石巻市泉町3丁目1番63号)
	参加者	27名
	内容	起業家に必要な経理・会計の知識、創業資金調達のポイント
	講師	竹井智宏さん (一般社団法人MAKOTO代表理事) 下里健二さん (一般社団法人MAKOTO理事)
第2回	日時	平成26年1月19日(日) 13:30~16:30
	会場	気仙沼中央公民館3階会議室 (気仙沼市魚市場前1番1号)
	参加者	10名
	内容	開業家に必要な経理・会計の知識、創業資金調達のポイント
	講師	竹井智宏さん (一般社団法人MAKOTO代表理事) 下里健二さん (一般社団法人MAKOTO理事)
第3回	日時	平成26年1月25日(土) 13:30~16:30
	会場	石巻市総合体育館会議室 (石巻市泉町3丁目1番63号)
	参加者	21名
	内容	ビジネスアイデアの磨き方、まとめ方、顧客を創造するマーケティング
	講師	小山龍介さん (株式会社ブルームコンセプト代表取締役)
第4回	日時	平成26年1月26日(日) 13:30~16:30
	会場	気仙沼市役所ワン・テン庁舎会議室 (気仙沼市八日町一丁目1-10)
	参加者	11名
	内容	ビジネスアイデアの磨き方、まとめ方、顧客を創造するマーケティング
	講師	小山龍介さん (株式会社ブルームコンセプト代表取締役)

(2) 訪問支援

当法人事務局の他、起業アドバイザーを配置し、起業支援対象者が円滑に起業できるよう助言を行いました。また、宮城県の震災復興起業支援補助金の申請を希望する起業家に対し、申請書類及び報告書類の作成支援を行いました。

<訪問支援担当者>

・当法人事務局

渡部慶太、村上貴紀

・起業アドバイザー

赤澤清孝 (特定非営利活動法人ユースビジョン)

小松洋介 (特定非営利活動法人アスヘノキボウ)

茂木崇史 (一般社団法人まちの誇り)

厨 勝義 (ツーリズムモ合同会社)

佐々木秀之 (特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター)

(3) 新規起業家の起業状況について

「平成25年度 宮城県復興起業家 事業紹介」(5頁〜)をご参照ください。

3、平成24年度起業家へのフォローアップ（経営支援）

（1）経営支援

「平成24年度起業家」とは、平成24年度内閣府復興支援型地域社会雇用創造事業の支援を受けて起業した方たちを指します。石巻・気仙沼エリアでは計132事業者が、平成24年度に起業されました。

今回、当法人事務局の他、経営コーディネーターを配置し、これら132事業者の事業実施状況の確認を行うとともに、事業の継続性の確保が図られるよう経営支援の助言を行いました。また、宮城県の震災復興起業支援補助金の申請を希望する者に対し、申請書類及び報告書類の作成支援を行いました。

<訪問支援担当者>

- ・当法人事務局
渡部慶太、村上貴紀
- ・経営コーディネーター
赤澤清孝（特定非営利活動法人コースビジョン）
厨 勝義（ツーリズムモ合同会社）
藤岡喜美子（公益社団法人日本サードセクター経営者協会）

（2）事業者の状況

フォローアップ対象の事業者132者のうち平成25年度も引き続き事業継続している事業者は113者、事業廃止は9者、電話、郵便物などのとれない者（連絡不通）が8者、宮城県外に転籍し、宮城県のフォローアップ対象外となったものが2者という状況でした。各事業者の個別の状況については「平成24年度 起業支援対象者 活動状況一覧」（44頁～）をご参照ください。

4、運営体制（事務局）

- ・主催団体：特定非営利活動法人石巻復興支援ネットワーク
責任者 兼子佳恵
担当者 渡部慶太 村上貴紀
- ・協力団体：特定非営利活動法人プレーンヒューマニティ
担当者 能島祐介 北村頼生
特定非営利活動法人コースビジョン
担当者 赤澤清孝

事業実施の様子



第1回コンベ 第二次審査



第2回コンベ 第二次審査



第1回基礎講座



第2回基礎講座



第3回基礎講座



第4回基礎講座

石巻

石巻の若者が集い、商店街に賑わいを 取り戻す古着屋&BAR

三浦 有貴

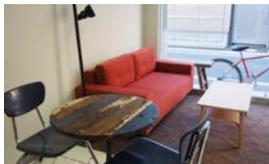


石巻市出身。美容室を経営。自身も美容師として活躍中。震災により美容室は全壊したが、11年5月には再開。震災後、避難所や仮設住宅で、仲間らと共に、ヘアカットのボランティア等を行う。震災後の活動で知り合った方々の後押しで、若者たちが集える古着屋を起業。

事業 概要

震災をきっかけに人生の考え方が変わり、やりたいことをやろうと思うようになった。10代の頃、友達と集まり遊びながら新しいことを発見し、先輩らからたくさんのことを教わった商店街が、震災の影響もあり、現在はシャッター街化している。若者たちの集う場所がなくなった地で、今度は自分が生み出す側になるとうと衰退した商店街で古着屋の起業を決意。

初めての人でも購入できるようなベーシックなデザインを中心とした古着を販売している。若者たちが集い、話し、新しいものが生まれるよう、軽食やドリンクの提供も行う準備を進めている。



成果 展望

古着の販売だけでは話題性に欠ける部分もあるので、フードやドリンクの販売やイベントを企画し、幅広い年代の方に“何かおもしろいことやってるね”って興味を持ってもらえるようにしたい。長期的には、数えきれない程の発見や気づきがあったこの商店街に、再び若者が集い、昔の商店街の町並みを取り戻せるようにしていきたい。

THE DAY

所在地：石巻市立町2丁目7-2 5

電話：0225-25-7130

E-mail：theday.mit2725@gmail.com

URL：https://www.facebook.com/pages/THE-DAY/
279854655516309



石巻

若手の移住者にむけて、石巻で「暮らし」を提供するシェアハウスづくり

渡邊 享子

東京工業大学博士過程在学中。西日本にて密集市街地での住まいの研究を行う途中、2011年の震災を契機に石巻へ移住。一般社団法人ISHINOMAKI2.0の立ち上げに関わり、フリーペーパー石巻VOICE編集、建築や不動産関連のプロジェクトをおこなう。2013年に、中心市街地での移住促進事業である2.0不動産を独自にスタート。



事業概要

現在、石巻にはボランティアや社会的起業を通して200名(独自調査)あまりの移住者が生活しています。こうした移住者から、震災後の住宅難で住まいや活動の拠点がなく、困っている状況を耳にすることがよくありました。被災し、古くなったために使われていない民家や商店の空きスペースをDIYで改修し、移住者にむけて提供する仕組みをつくりだしたいと思い、この事業を立ち上げました。今回、開設した「SHARED HOUSE八十八夜」は、石巻市の立町大通り商店街にて営業中のお茶屋さんの2階。ご高齢の大家さんが1階でご商売を営んでいる中で、使われていなかった2階の住宅部分を改修し、個室2室、ドミトリー1室、計5名が生活できる場所になりました。現在、移住者や学生が居住しています。



成果展望

全国の地方都市では自治体によって様々な移住者向けの施策が行われています。こうした中で、シェアハウスの設置や、ゲストハウス、cafeの開設など、収益のあがる事業をあわせて行うことで、ビジネスとして「移住促進」がなりたつ「石巻流」の移住促進を模索していきたいと考えています。また、今回のように改修の作業プロセスに地域の学生や若手に加わってもらうことで、若手への学びや体験の場を提供することが可能となり、大家さんと若手居住者のコミュニケーションの機会もあわせてつくることができました。こうした新しいコミュニケーションを媒介できるような場づくりを今後も展開していきたいと思えます。

石巻2.0不動産

所在地：石巻市中央2丁目10-2 新田屋ビル1階
電話：0225-25-4953
E-mail：kyokow1007@gmail.com
URL：http://www.i2-fudousan.com



石巻

被災された方々の心身をほぐす 「あるまおいるセラピーひだまり」

三浦 美恵子

震災から数年が経過し、ようやく復興に向けての動きが出てきたが、被災された方の心はまだ深い傷跡が刻まれている。このような中で、美容や健康、リラクゼーションとして、癒やし効果を得られるアロマセラピーが、被災者の心をほぐすのではないかと考えた。老人介護施設や仮設住宅等でのボランティアでの活動を経て、「あるまおいるセラピーひだまり」をオープンさせた。



事業概要

天然植物素材より抽出されたアロマ（精油）オイルを使用したオールハンドのボディトリートメントで、自然治癒力を高め五感を刺激し血液やリンパ液の循環を高め、心身の緊張を和らげ凝りや疲労を取り除きます。皆様の心と身体のストレスや疲れを癒し、心身のバランスを整えるお手伝いをさせていただきます。

また、ご年配の方々にマッサージを通してお話を聞いたり、コミュニケーションをとるなど、社会とのつながり持ち、孤独を感じないようなサポートをしていきたいと思います。



成果展望

開業後、アロマオイルマッサージを初めて体験されたお客様も数多く来店されています。

「心が癒された」と感謝されたり、「体が楽になった」と言ってもらえたりと、アロマオイルマッサージの手ごたえを感じています。

今後は、外に出かけられないご年配の方々にも、アロマオイルマッサージをもっと知ってもらい体験して頂けるようにPRしていきたいと思います。



あるまおいるセラピー ひだまり

所在地：石巻市中里7丁目5-8 酵素スハmasha内

電話：070-6620-5343

URL：<http://www13.plala.or.jp/aromahidamari/index.html>



石巻

アロマケアで心と体のリフレッシュと健康の維持増進を

阿部 啓子

石巻市茜平在住。東日本大震災前まで電子部品の会社を経営していたが、震災で全てを失い、震災後アロマケアのボランティア活動を仮設住宅中心に行ってきた。ボランティア活動を継続しながら、この経験を事業としてより多くの方に向けて頂きたい、経験して頂きたいの思いから起業に至る。



事業概要

ボランティア活動だけでは限られた方で終わってしまう、事業とすることで、より多くの方々に知って頂きたいの思いから起業しました。

アロマケアは癒しであり街の中ではなく、静かな所で行いたいと考から石巻市中里に場所を構え、2014年4月に開業しました。

アロマケアの後、お茶（ハーブティ・コーヒー等）を飲ながらお話ができるスペースも設けています。ポスティングに頼らず予約と口コミを基本とし、少しずつだが、リピーターも増えてきています。



成果展望

この事業は、もともとアロマケアに興味があったり、アロマの効能を理解していない人には、ハードルが高いのかもしれませんが、いかにして一人でも多くのお客さまを獲得できるかが、大きな課題です。

集客方法は、基本は口コミですが、ボランティア活動で訪問した所にチラシを置いてPRする他、健康の維持増進、そして老化防止に役立つことのPR等、そしてブログで積極的なPR活動をして行きたいと考えています。

また、アロマケアに固執せず並行して、関連商品の展示販売も行い売上拡大につなげて行きたいと考えています。

NPO 心と体のケアサポート・Kコラボ

所在地：石巻市中里六丁目13-6 コーポ中里102号

電話：090-2029-7799

E-mail：kcollabo@ybb.ne.jp

URL：http://ameboro.jp/kea-kokorotokarada



石巻

三輪田窯の器とおいしいコーヒー＆ ベーグルを提供する移動式オープンカフェ

亀山 英児

北上川のほとりの三輪田地区にある旧小学校教場跡に窯をひらき、窯主を務めている。地元の天然素材にこだわり、カップや皿等を制作している。三輪田という地域の良さを伝え、三輪田のファンを増やすため、移動式カフェを起業。他にもものづくりの楽しさを伝えるため、陶芸教室等も行っている。



事業概要

石巻市内から約30分の場所に「三輪田窯」を開業して10年目。たくさんの方へ三輪田地域をアピールするため、移動式オープンカフェを企画。

珈琲、ベーグルなどを販売する。

「どの地域にもいける」という利点を活かし、現在、金曜日と土曜日は三輪田での営業、火曜日は人が集う商店などへ移動し営業を行う。その他イベントへの出展等も行っている。



成果展望

季節に応じた看板メニューの作成などのお店の骨格作り、清潔なトイレなどの環境整備ができた。良いモノたちの紹介を充実させていくため、企画展やイベントの企画、開催をめざす。窯場にお越し頂いた方にはのんびりと過ごしていただき、移動時には三輪田のPR、良いモノの紹介をするなど、少しずつ認知度を高めていきたい。食やモノを通して、普段の生活の中にたくさんの「！」を増やせるような気づきを提供していきたいと思います。



かめかふえ

所在地：石巻市三輪田字引浪前1-1
電話：0225-62-2382
E-mail：info@minowadagama.jp
URL：http://kamecafe.jp



石巻

カフェ営業を通して地域主体で高校生の活動をサポートする仕組みをつくる

神澤 祐輔

兵庫県三木市生まれ。近畿大学理工学部建築学科を卒業後、ジーク株式会社デザイン室にて5年間、店舗内総デザインを行う。仕事をしながら重要に感じたことは、「コミュニティ」と「空間」の関係性。「モノを売るため」ではなく「人をつなぐため」に自分のスキルを活かしたいという思いから前職を退職。2013年11月より石巻にていしのまきカフェ「」の現地スタッフとして活動を開始。



事業概要

現在活動している いしのまきカフェ「」を法人化し、従来の活動を持続していくための仕組みを作る。そのためにこれまで週末のみだったカフェの営業をあたりに平日にも行うこととした。

平日の営業を通じて、地元雇用の創出と地元企業、生産者のつながりを生み出し、地域が主体となって高校生の活動をサポートする仕組みをつくっていく。

また、平日営業時の売り上げを高校生の活動費として活用したり、カフェの空間を発表の場とすることで、地域と高校生が一体となった取り組みも充実させていく。



成果展望

高校生と地域の大人が繋がり、お互いに協力して街づくりを考えていける仕組みをつくる。地域一帯となった教育のカタチをつくり、将来、「」（かぎかっこ）を卒業した高校生が自ら考え行動できる大人になり、石巻を盛り上げていける様にしたい。

そして、継続的に若者が石巻にとどまる、もしくは帰ってくるような継続的な仕組みをつくりたい。

いしのまきカフェ「」

所在地：石巻市穀町14-1 石巻市役所1階ESTA内

電話：0225-23-9371

E-mail：cafe@doorwaytosmiles.jp

URL：http://kagikakko.jp/



石巻

石巻の子どもたちの学力低下、不登校問題に取り組む学習塾

協働マネジメント株式会社 (教育事業部 桜塾)

震災後、雇用創出や地域活性を目的に石巻市で創業。6次産業化による地元の食材を使用した飲食店の経営や事務用品のリース等を行っている。

代表の布施は、震災前より不登校児へのサポートを行っていたが、震災によって子育て環境が悪化し不登校児が急増したため、新たに学習塾事業を開始した。



事業概要

震災前から石巻市の学力低下は全国的にも危惧されている問題であり、それに加えて2012年度には中学生の不登校率は高い水準であり、学校現場の問題は多岐多様化している。

震災後のボランティアの学習支援も少しずつ撤退しており、もはやNPO団体や学生団体などの子ども支援だけではなく、石巻の将来を見据え、地域に根付いた事業として子どもたちの学習面でのサポートや、子どもを対象とした団体間の連携した活動が求められている。

現在の活動は、小学生から社会人までの生徒を受け入れながら、地域に根づく学習塾として確立をするとともに、そこに潜む教育問題を抽出していっている。



成果展望

現状、家庭との連携を深める学習塾という立ち位置は確立しつつあるので、今後の展望としては、市内外の不登校支援を行うNPO団体などとの関係を強化し、臨床心理士やカウンセラーなど専門家の協力のもと、親を対象とした子育てのサポートや、不登校支援の活動を行う。また、行政・学校ともかかわりを深め、お互いにサポートしあえる関係を築いていき、不登校に限らず問題を抱える生徒や、不登校予備軍の子どもたちへの対応など、早期対応が求められる問題へ取り組んでいきたい。

協働マネジメント株式会社 (教育事業部 桜塾)

所在地：石巻市開北1-1-12開北ハイツ1階

電話：0225-25-7970

E-mail：info@sakura19ishinomaki.com

URL：http://sakura19ishinomaki.com/



石巻

地元十三浜のワカメを使った、 絶品「三陸わかめ餃子」の開発

西條 覚

宮城県石巻市十三浜出身。地元の高校を卒業後、一度は市外で仕事につくが先代からの加工、仲買業を次ぐ為に地元に戻る。震災で加工場を失ったが、高台に新たな加工場を建設、地元産の食材にこだわって製品作りを行っている。



事業概要

震災前は、ワカメやコンブの養殖の他にホタテなどの仲買業を行っていたが、東日本大震災の影響でホタテの養殖が全滅、仕入を行う事が出来なくなり仲買業を休止せざるをえなくなった。

その後、地元の漁師が比較的早く養殖を再開したワカメやコンブを生かし、地元産のワカメの特徴を活かした商品を新たに作りたいと考えた。

川崎市の中華料理店等からの指導を受け、多くの人に親しみやすく、調理しやすい餃子の開発に決定し、なんとか今回の開発にこぎ着けた。



成果展望

現在は地元石巻の学校給食で採用してもらい、2回程テスト的に取り扱ってもらった。地元の食材の美味しさを子どもたちに憶えてもらって、将来も地域の生産品に親しみを持って欲しい。

また、外部への販売に関しては、特産品として評価の高い十三浜産のワカメを使うことで商品として付加価値を付け、イベント会場などでも積極的に売り出していきたい。今後は、他の食材と組み合わせることで更に多くの商品を開発して行きたいと考えている。

有限会社マルイチ西條水産

所在地：石巻市北上町十三浜字松ノ坂8-3

電話：0225-66-2065

FAX：0225-66-2317



石巻

産直流通で地域を活性化 「ふみかあさんの牡鹿の味お届け便」

阿部 ふみ

元々は縫製関係の会社に勤務。経理や企画から縫製まで様々な業務を経験。結婚後、牡鹿にて海産物の加工などに従事していたが、震災で被災し、実家のある大森地区に戻る。牡鹿の仲間からの「ふみさんの声がきけねとさみしい」という声もあり、牡鹿の海産物の加工や販売の活動を通じて、コミュニティの再生に取り組むこととなった。



事業概要

牡鹿地区は、震災による被害も大きく漁業の復興も遅れている。また、安定した販路や従事者の高齢化などの課題を抱えていた。

しかし、ホタテやホヤなどの海産物は、評判の地域でもある。よって、これらの課題を解決するために、ホタテやホヤなどの加工場をもう一度整備するとともに、新たな販路、販売方法をつくっていくことで、牡鹿鮫浦地区の漁業の活性化をすすめている。



成果展望

起業支援を受けることで、海産物を加工するためのクリーンカッターなどの機械を購入し、作業環境を整備することができた。

この他、ホタテやホヤなどの通信販売する仕組みづくりも徐々に進み、遠方から購入してくれるリピーターも増えている。また、地元の複数のスーパーや料亭など、取引先もつくることができた。より多くの人たちを雇用できるよう、今後も着実な事業の拡大に努めたい。

ふみかあさんの牡鹿の味お届け便

所在地：石巻市大森字小侍井下1の1宮城住宅B
電話：090-2987-2652



石巻

ふるさとを未来へつなぐ、 蛤浜の魅力を伝える浜の宿

亀山 貴一



石巻市蛤浜出身。昨年宮城県水産高校教員を退職し、caféはまぐり堂を開業。2012年3月に蛤浜プロジェクトを立ち上げる。泥かきや瓦礫の撤去を行なった後、地域の方や全国のボランティアさんと協力して築100年の自宅を改装したcaféはまぐり堂を2013年3月にオープンした。
一般社団法人はまのね代表理事。牡鹿地区復興応援隊。

事業 概要

牡鹿半島の蛤浜は震災によって甚大な被害を受け、人口が2世帯5人にまで減少した。蛤浜を持続可能な集落にするため、蛤浜プロジェクトを立ち上げた。暮らし、産業、学びを3本の柱とし、カフェや宿、自然学校、ツリーハウス、マリトレジャーなど浜の資源を活かしたもので交流人口の増大を図る。

昨年オープンしたcaféはまぐり堂に続き、今回、浜の宿「高見」をオープンする。宿の改修には全国から建築の学生が集まり、改修案の作成や施工を共にやってくれている。石巻産のものや浜で採れた食材を提供し、様々な体験もできる宿にする。



成果 展望

今後は海や山を活かしたアクティビティに加え、浜の方から漁業や畑、知恵を学び、より土地に根ざした活動をしていきたい。
また、蛤浜だけでなく、他の集落や団体、企業の方々と連携し、民泊や芸術祭、トレイル、自転車のイベントなど牡鹿半島全体の活性化につながるような取り組みをしていきたい。外部から人を呼び込むだけでなく、主要産業である漁業が活性化するよう、ブランド化や6次産業化にも取り組んでいきたい。

一般社団法人はまのね

所在地：石巻市桃浦字蛤浜18
電話：0225-90-2909
E-mail：kameyama0307@yahoo.co.jp
URL：http://hamagurihama.com



石巻

ご病気・噛む力に合わせた高齢者向け 宅食サービス「愛さんさん宅食」

小尾 勝吉

神奈川県出身。2011年3月11日の東日本大震災を受け、石巻等へ汚泥除去、民家の清掃等のボランティアに参画する中、一人暮らしの高齢者の生活に危機感を肌で感じ、ご病気・噛む力に合わせた配食サービス「愛さんさん宅食」を塩竈市に創業。そして2店舗目を石巻にて開店した。



事業概要

高齢者向け宅食サービス「愛さんさん宅食」を塩竈、石巻の2店舗を運営。

従業員約40名の内、3人に1人が障害のある方であり、その他、シニア・仮設の方・片親ママ等を積極採用し、働く場と生きがい創りを目指している。2018年までに200名の社会的弱者の働く場を創造することを目標としている。

「家族愛・親孝行」を理念に、自分の親に食べてもらいたいと思えるお食事と笑顔をお届けすることで、一人でも多くの利用者様の健康で文化的な生活に寄与してまいります。



成果展望

世の中が便利になっても制度の狭間で悩み苦しむ方々がいる。時代と共に起こりうる社会問題をプロジェクトベースで解決し「ありがとう」の連鎖を生み出し、社会の公器となる組織を目指す。

「ビジョン」

誰もが、生まれた環境に左右されることなく、経済的な豊かさと心穏やかに過ごせる人生を、自らの努力によって切り拓けるような仕組みを世の中に残す。また当社の経営者、構成員の生き方そのものが、多くの方々に見える勇気や希望を与えるものである組織を創る。

「ビジョン達成の為の3つの柱」

- ①社会的弱者の働く場、生きがい創り
- ②片親世帯の子供達の自己実現支援
- ③社員さんの自己実現の為の仕組づくり

愛さんさん宅食 石巻事業所

(運営：株式会社ソーシャルプロジェクト)

住 所：石巻市駅前北通り1丁目5-6

電 話：0225-90-4213

URL：http://www.ai-sansan.com



石巻

手作り商品の販売流通網の構築と 新規地域ブランドづくり

広部 知森

東日本震災前までは、関東圏で一社員として勤務していたが、震災後、ボランティアとして石巻へ。大川小学校学区の被災拾得物展示返却のボランティアリーダーを務めた後、2011年10月、任意団体応援のしっぽを設立。小さな団体と企業や支援団体とをつなぐコーディネート役を担う。2012年11月、同団体をNPO法人化し、代表に就任した。



事業概要

震災後、ものづくりを核とするコミュニティは、生きがいづくりや雇用の創出のために、外部支援の協力も得て数多く生まれた。しかしながら、それら多くのコミュニティは、震災記憶の風化などから手作り商品が売れなくなり、運営とスタッフのモチベーション維持に支障をきたしていた。これら、ものづくりコミュニティの維持、および発展させていくために、被災手作り商品の販売流通網及び新規地域ブランドの構築事業をめざした。このような経緯から、ものづくり団体手作り商品の受注・配送センターの運営を開始し、売り手と買い手の間をうまくつなぐことで、売上を向上させることができた。



成果展望

受注発送センター稼働後は、売り上げも堅調に推移し、さらにさまざまな支援団体や個人からの引き合いも生まれた。また、売り上げが上がることにより、取りまとめている作り手たちの意欲も増すなど、好循環が生まれている。

今後は、通信販売にも力を注ぎつつ、市内のギャラリーショップを設けるなど、実際に商品を手に取って見れる機会を増やし、さらなる売上向上につなげていきたい。

特定非営利活動法人応援のしっぽ

所在地：石巻市立町2-7-25-2F

電話：0225-24-9258

E-mail：info@oennoshippo.org

URL：http://oennoshippo.org/



石巻

漁船 富治丸に乗り込み、荻浜港で 収穫した牡蠣やムール貝の販路を拡大

久米 徹平

千葉県出身。東京都内の飲食や金融といったサービス業に従事していた。震災後、牡鹿半島の荻浜という漁村で牡蠣の養殖業の支援活動を行う。その際、大自然を相手にする漁業に惹かれ、荻浜へ移住。現在、漁業に従事しながら、収穫した魚介類を販売するため、魚介類販売業を開業。



事業概要

震災以前から、高齢化や過疎により若年漁業者が減少するなど、漁業者の担い手不足に直面していた石巻市荻浜。震災後、自宅や漁船、漁具などが流失したため、漁業を廃業し市街部へ転居していく人が急増し、小学校が休校に至るなど、漁業者の担い手不足のみならず過疎も深刻化している。しかし、この津波被害のあった家で寝泊まりし、小女子漁、アナゴ漁、牡蠣養殖業に参加し、生活する中で、素晴らしい自然の恩恵があることに気づく。この自然の恩恵を求めているところへ届けたいと思い立ち、漁業に従事しはじめた。現在は、漁で収穫した牡蠣やムール貝を中心に販売を行う。



成果展望

大自然を相手にする漁業ならではの厳しさもあるが、それを超える素晴らしさや面白さがある事を実感。漁業の素晴らしさを伝え、漁業従事者数の増加を目指したい。

また、単に牡蠣やムール貝等の素材を売るという事だけではなく、流通の仕組みの見直しや飲食店のニーズを捉えた付加価値のある商品開発をしていきたい。生産だけではなく、加工品の開発販売など、収穫した魚介類を無駄なく消費者へ届けながら、水産資源を有効に活用できるよう取り組みたい。

富士丸営業部

所在地：石巻市荻浜字家ノ入5-2
電話：080-4524-8261
E-mail：21stfujimaru@gmail.com
URL：www.21st-fujimaru.com



石巻

わかめの商品開発を通して、未だ眠れるわかめの魅力を首都圏に伝える

安藤 貴明



茨城県生まれ。震災時は東京で会社勤めをしていたが、休日を利用して石巻でのボランティアツアーや、東京での支援イベントを開催。2012年2月には石巻市十三浜の「生わかめ」を活かして「生わかめしゃぶしゃぶセット」を期間限定ネット販売し、同時に東京での試食会も開催。2013年2月に登米市へ移住し、本格的に商品開発事業をスタートさせた。

事業概要

震災後、東京での仲間とともに石巻市へ毎月通り、ガレキ撤去等のボランティア作業に従事。

活動中に知り合った十三浜のわかめ漁師さん達の挑戦を後押しするかたちで、浜でしか食べられない「生わかめ」の美味しさを活かした「生わかめしゃぶしゃぶセット」をインターネットで期間限定販売し、首都圏を中心とする多くの方々から好評をいただく。

現在も、わかめの商品開発を進めており、首都圏消費者へのヒアリングや地域産品の専門商社との打ち合わせ、若者向けレシピの研究をすすめている。



成果展望

2014年は、業務用生わかめしゃぶしゃぶが大手居酒屋チェーン店の春宴会メニューに採用。無事に販売を終えることができ、来年も継続できるように提案を進めている。今後は、消費者の声を取り入れた商品を作り首都圏の高級スーパー向けに販売する予定。

今日の市場では海外産の安価なわかめが主流であるが、三陸のわかめは総じて質が高く、味・品質ともに海外産とは比べ物にならない。

首都圏にはその違いや食べ方を知らない方も多いため、利便性や健康面、美味しさをきちんとPRするとともに、もっと身近に利用してもらえるよう新たな商品開発にも取り組む。



わかめ向上委員会プロジェクト

所在地：登米市豊里町小口前185-4、2-306

電話：080-8212-9068

E-mail：mailandress@gmail.com



石巻

雄勝ローズファクトリーガーデンを拠点に 街の復興のため、人と人が繋がる場作りを

徳水 利枝

石巻市雄勝町出身。1988年より雄勝町で学習塾を経営。震災により、母、叔母、従兄弟、自宅をなくす。実家跡地に花を植え始め、多くのボランティアの方の支援を頂きつつ、被災した雄勝を花で彩る活動に取り組んでいる。一般社団法人雄勝花物語代表理事。



事業概要

2012年より雄勝花物語実行委員会として、雄勝町の緑化支援活動をおこなってきた。2014年一般社団法人雄勝花物語を設立し、花を使った小物作り事業、緑化活動を通してのお年寄りの生きがいがづくり、子供の遊び場作り事業及び防災教育・被災地研修受け入れ事業を行っている。



成果展望

- ①子供とお母さんがのびのび過ごせるキッズガーデンづくり
 - ②ローズガーデンのバリアフリー化
 - ③子供もお年寄りも、様々な生きにくさを抱える人も自分のペースで活動できる場とプログラムの提供
- これらの事業により雄勝での交流人口を増やし、町の復興を後押ししていきたい。



一般社団法人雄勝花物語

所在地：石巻市真山2丁目5-2-5

電話：0225-23-2551

E-mail：rie-tokumizu@peace.ocn.ne.jp

URL：http://ogatsu-flowerstory.com



女川

女川に地ビールを作り、女川で働く人達に安らぎの場を提供する

木村 優佑



女川生まれ。高校を卒業してから東京に上京し、IT関係の仕事で8年。震災が起き、女川で何かできないかと考え出会ったのが一軒家のブルーバブ。この広さと規模なら、女川でもできるのではないかと、思いそのブルーバブで一年間働かせてもらい、女川にUターン。女川で地ビールをオープンし今に至る。

事業概要

一軒のブルーバブに出会い女川でビール醸造の計画。一年間の飲食店とビール醸造を学ばせてもらい、2013年10月に女川町に引越す。

11月から復幸まちづくり女川合同会社に就職。

3月から女川町きぼうのかね商店街で内装準備をはじめ、5月5日にグランドオープン。

店内で女川ブランドのあがいんおながわ商品の一部をおつまみで出している。

全国から地ビールを仕入れ十種類のいろいろなビールならべ女川町民の好みにあわせたビールスタイルを研究中。



成果展望

女川で地ビールを醸造、女川でホップを育て、それを使用したビールの醸造をしたり、女川の牡蠣、ホヤを使用したビールなどもチャレンジしていきたいと思っています。サンマ祭りや復幸祭などのイベントに合わせ、女川でオクトーバーフェストのようなビールイベントし観光客と女川の人達による新しいコミュニティを構築していきたいです。

ビールを飲み楽しみ明日への活力をつけ、活気のある女川町を作っていきたいです。

復幸まちづくり女川合同会社

所在地：宮城県牡鹿郡女川町浦宿浜字十二神60-3-3 ガル屋

電話：090-9534-9979 ,FAX0225-98-9048

E-mail：info@onagawa.co.jp

URL：https://www.facebook.com/garuyabeer



女川

店舗経営を通じて、雇用を創出し 町に笑顔を増やす

山田 隆大



女川町在住。震災の日は専門学校最後の日で、お昼から就職先で研修がスタートであった。当時、地元に戻り力になりたいと思ったものの今の自分では何もできないと思い、戻ることが断念。その一年後、地元に戻り飲食店で町の力にならないかと聞かれたことで、開業を決意。自己資金の確保と研修や勉強会などで研鑽を重ね、2014年、女川で洋食店を開業した。

事業 概要

町が抱えている問題として「人口の流失」があります。原因の一つとして働く場所が無いもしくは知らない、戻るきっかけや場所が無いです。

そこで自分のできること、得意なことでの起業し、雇用を増やしたり、人材の育成のお役に立つことができれば、周りの方々にもよい影響をあたえることができると考えました。そして、2014年5月、洋食レストラン「りぼん」をオープンすることができました。300円から500円の価格で提供しており、お客様にもよろこんでいただいています。

[メニュー：洋食ワンプレート（サラダ、日替おかず3種類、パスタまたはご飯 500円）おかず単品（300円）]



成果 展望

まだ、地域の方を雇用できていないので、近いうちに、実現させたい。2015年には町の駅ができるので、それに合わせて店の改装を行い、観光客を相手にできる店づくりをすすめる。他の飲食店さんとのコラボをするなど、その時々限定の商品も作りたい。

また、今の場所ではお酒が出せないが、ゆくゆくは、夜のお店も開き、地域の方々や町に来られた方々に、夜も女川で楽しんでいただきたい



りぼん

所在地：宮城県牡鹿郡女川町女川浜宇大原
女川総合体育館野球場仮設

電話：090-9420-6760

E-mail：takahiro_yamada1123@yahoo.co.jp





震災で失った屋外で大勢の人と 食事を楽しむ文化をBBQで復活させる！

熊谷 美幸



高校を卒業後、コンビニエンスストア店舗スタッフとして、震災までの5年間勤務。震災をきっかけに、両親、姉夫婦等と合同会社を設立。復興屋台村気仙沼横丁にて飲食店2店の経営に携わる。2013年、七輪屋500.comを開業。気仙沼で初の立ち飲みスタイルとインパクトのあるメニューが特徴。また日本BBQ協会に入会し、初級インストラクターも取得している。

事業 概要

気仙沼という地域では、皆で集まり屋外で食事をする事を楽しむ事が多かった、花見、芋煮はもちろん、明日の天気を願う、お天気祭りなどと言って、何かに理由を付けては屋外で食事を楽しんだ。今では全国区の知名度の気仙沼ホルモンもこのような背景から生まれている。しかし、震災後が市民のレクリエーションを楽しむ機会が不足している。そこで、地元気仙沼にこだわった食材を提供し、震災で失ってしまった大勢での屋外の食事（パーティー）を復活させたい。地域、仲間、自然との交流を通じて、人間らしい生活を送ってほしい。また、こうした動きを加速させていくために、気仙沼BBQ協会を設立し、その運営を通じて雇用拡大をめざしたい。



成果 展望

具体的には、ケータリングBBQサービス、子供BBQスクール（イベント）の開催の他、BBQ用品販売にも取り組んでいる。

この他、イベント、お祭り等ケータリング販売なども力を入れており、昨年度は東北わくわくマルシェに出店し、試験的なメニュー展開もできた。また、焼き出しグランプリ（東京）では、優秀グランプリを受賞。大手企業の出店もある中で受賞をもらえたので大きな自信となった。全日本BBQ連盟のサポートをいただけるようにこれからの事業展開に大きな力となりそうである。

七輪屋500.com

所在地：気仙沼市南町4-2-19復興屋台村気仙沼横丁
電話：090-5834-8532
URL：<http://ameblo.jp/7rings500/>



気仙沼

気仙沼初のシェアオフィスをオープン！ 起業しやすい環境を生み出す！

杉浦 恵一

ヒッチハイクの旅の途中、東日本大震災が発生、お世話になった東北にすぐに支援活動に入る。緊急支援から民間ボランティアの受け入れ施設の開設、ともしびプロジェクト、チャリティースポーツプロジェクトなど様々なプロジェクトの立ち上げる。その後、気仙沼に拠点を置き2012年一般社団法人Nr.12（ナンバートゥエルブ）を設立。2014年にはコワーキングスペースを開設。



事業概要

これから気仙沼に必要なと思うことの中の一つに、現地に根を張って活動していく企業やNPO、団体を増やす、ということが挙げられます。

しかし、事業を行うにもなかなか場所が見つからない、オフィスを構えるにはリスクが大きすぎるなど拠点づくりは起業するにあたっておおきな壁になっているのが現状です。

そこで、起業しやすい環境、連携しやすい環境をシェアオフィスという形で生み出し、気仙沼の活性化に繋げていこうと考えました。



成果展望

会員どうしのマッチングはもちろん県外からの支援団体とのマッチングやIT関係のスクール、キッチンのあるイベント会場としての場所貸しなどを行っています。

また、気仙沼の起業家を育成したり、若手起業家を地元のみんで応援していく体制をつくっていききたいと思います。



co-ba kesenuma

所在地：気仙沼市南町2-2-25

電話：0226-25-8131

E-mail：cobakesenuma@gmail.com

URL：http://ima210.com/co-bakesenuma/



気仙沼

遊ぶ場所が限られている子どもたちが、思い切り体を動かせる場所

千葉 清英



東京都出身。平成14年、気仙沼にて妻の実家が営んでいた牛乳販売店を後継する。平成23年の東日本大震災で、会社、自宅、家族7人を失い、1人残された息子との約束を果たすために、気仙沼にバッティングセンターを建設するために奔走する。そして、平成26年3月30日、気仙沼フェニックスバッティングセンターをオープンさせた。

事業概要

気仙沼において運動施設及びグラウンドが激減している。未来を担う子どもたちの体力低下、肥満の改善も大きな課題である。そこで、子どもや地域住民を対象としたバッティングセンター事業を行い、健康づくりや、地域のコミュニティ形成にも貢献したい。

センターは、約3300平方メートルの敷地内に7台のピッチングマシンを配置。全てに左右の打席を備えている。また、トスマシーン、ストラックアウトも備えている。この他、屋内には卓球コーナーや健康器具などもあり、子どもから大人まで楽しく過ごすことができる空間となっている。



成果展望

大雪などの影響で工期が遅れに、バッティングセンターは3月末のオープンとなったが、無事にスタートすることができた。

今後は、年間延べ利用者数2万人、来客者へのグッズ販売、延べ観光客数1000人を目標に集客に務める。

高齢者や障害のある方の健康づくり、リハビリはもちろん、遊ぶ場所が限られている被災地の子どもたちが、思い切り体を動かせる施設となるようがんばりたい。

気仙沼フェニックスバッティングセンター

所在地：気仙沼市松崎柳沢228-77

電話：0226-25-8567

URL：<http://www.phoenix-kbc.com>



気仙沼

地元でデザイン専門の会社を設立し デザインの力で宣伝活動をサポート

佐々木 義洋

気仙沼出身。デザインの道を目指し東京へ。デザイン制作会社で8年、個人で8年、雑誌や書籍カバー、ロゴ、ホームページなどの広告全般のデザインを中心に活動。震災後、気仙沼にデザインの必要性を感じ、2014年『気仙沼デザイン株式会社』を設立。ロゴ、看板、ホームページ制作を中心にデザインでできることを広めている。



事業概要

気仙沼にはまだ、本当の意味で、デザインにコストをかける認識や文化が少なく、せっかく復興のため良い企画や商品、サービスを考えても、デザイン専門の会社が地元にないため、宣伝力が弱く、その結果、伝わらない。生まれ育った気仙沼に自分がデザイン事務所を設立することでデザインの価値を少しでも感じてもらえたらと思います。

起業後、地元で活動してみても、ホームページの依頼も多いのですが、ロゴデザインだけでなく、『看板制作』の需要が多く、地元看板業者と連携し、看板や店頭のデザインにも力をいれています。



成果展望

今でこそまだ全国から注目が集まる気仙沼ですが、今後その注目度は下がります。そのときに必要なのが、自分たちで宣伝すること。デザインです。まだ多くの方が勘違いされていますが、『デザインは飾りではなく、商品やサービスの本質を分かりやすく伝えること』です。どうすれば一番伝わるのか、表現できるのかを16年考えて仕事をしてきました。一般の方でも一定の水準の宣伝すること、実はあります。これからは、セミナーやネットを通じ、自分の持っているものを伝えることで、デザインへの意識を高めてもらい、地域の発展へつながればと思います

気仙沼デザイン株式会社

所在地：気仙沼市長磯浜3番地

電話：0226-25-9644

E-mail：info@kesennuma-design.jp

URL：http://www.kesennuma-design.jp





気仙沼の美しい星空を生きし、 市民主体の新しい観光事業を展開

伊藤 雄一郎



気仙沼市八日町生まれ。ワインバーを営みつつ、天文学の普及活動を行う。2009年、気仙沼にてワインバー風の広場を開業するが、2011年に震災のために閉店となる。2013年4月、コワーキングスペース「風の広場」を運営。写真展、物産、観光案内を行う。同年12月に、特定非営利活動法人気仙沼銀河学校を設立し、スペースや各種事業の運営に尽力している。

事業 概要

気仙沼では、水産業、既存の観光業以外は、依然難しい状況が続き、震災復興を商品にした観光業もいずれ衰退していくと思われます。

しかし気仙沼には、環境省（環境庁）の日本星空ランキングで二度、一位を獲得した美しい星空があります。

震災関連を含む体験型観光事業と連携し、美しい星空とそれを守る市民活動をプログラムの一つとしてPRするなど、市民主体の新しい観光の誘致活動を展開していく計画です。

また、コワーキングスペースでは、地産地消のレストラン兼、産直、オリジナル商品の販売などを進めていくことを計画しました。



成果 展望

星空観察などの観光プログラムについては、市内の他団体と連携して実施し、観光振興に一役買うことができました。今後、さらにプログラムを質を高め、さらなる観光客誘致を進めていきたいと思っています。

なお、レストラン事業については、店を任せらえる地元の人材が見つからないため、もう少し先の展開となりました。先行して、産直、オリジナル商品の販売を進めていきます。

特定非営利活動法人気仙沼銀河学校

所在地：気仙沼市河原田二丁目3番17号

電話：0226-29-6470

E-mail：yu1018ii@yahoo.co.jp

URL：https://www.facebook.com/ksenuma.moonlight





地域内外の人たちに鹿折エリアの 遊び場を案内する

塩田 賢一



気仙沼市鹿折エリアで、震災前から気仙沼でうどん屋を経営。一般社団法人鹿折復幸マルシェの代表理事として、鹿折復幸マルシェの立ち上げから運営を手掛ける。外部からの支援者の助けを借りて鹿折復幸マルシェの敷地内に子供向けの遊具を設置したり、イベントを実施したりする等、地域の人が集まれる仕掛けを数多く手掛けてきた。

事業 概要

気仙沼の中でも鹿折エリアは特に地域の人（特に若者）が楽しんで集まれる拠点が不足していた。丘に乗り上げた船（共徳丸）が撤去されて以降、外部からの観光客の流入も激減し、人が集まる仕組みが求められていた。また、震災後にグランドなどは仮設住宅が立つ所が多く、子供（大人も）が自由に体を動かして遊べる場所が圧倒的に不足していた。学校の体育館などに伝手がある人以外は自由に運動できる場所がなかった。それらの課題を解決する為に空き地を利用した簡易フットサル場の設置ならびに鹿折の遊び方を紹介する事業を展開している。



成果 展望

本格的なフットサル場を設置を目指すとともに、釣りやトレッキングなど鹿折の遊び方を紹介する領域を広げていくことを展望している。将来的には気仙沼においてトライアスロンを実施するなどのスポーツを通じた地域活性に取り組んでいきたい。



株式会社鹿折復幸パーク

所在地：気仙沼市河原田1-2-33

電話：080-3335-4099



気仙沼

つくる人 食べる人 三陸の旬でつなぎます

畠山 享

気仙沼市出身。大学の春休み中、帰省していた気仙沼で被災。震災後、気仙沼市内中学校避難所で物資受け取り、給食・配膳、慰問者受付等のボランティアをしながら（一社）気仙沼復興協会を設立（2011年4月）。同年12月より、銀座いきなり市場にてコミュニケーションデザイナーを務めるなど、東京と東北を行き来しながら活動を続けてきた。



事業概要

気仙沼を中心とした三陸地方（陸前高田、南三陸、石巻）の仮設住宅や耕作放棄地にて自然栽培（無農薬、無肥料、無除草剤）にて季節の野菜を栽培し販売しています。

仮設住宅で暮らす方や津波によって田畑を失った方などに、プランターの利用した野菜の自然栽培をしていただき、それを三陸野菜が購入し、販売するというかたちで運営している。

これまでに、70ヶ所近い仮設住宅でプロジェクトを実施。800戸を越える家庭で、プランター栽培が広がりました。



成果展望

起業支援を受けることで、法人格の取得など、事業を開始する体制ができた。

また、野菜の栽培・販売を通して、いきがいの提供や、コミュニケーションを図る場を提供することができた。

今後は、津波被害によって放棄された土地での畑づくりもすすめ、市内に在住する就農希望者の雇用を広げるなど、「農」を軸とした事業をさらに発展させていきたい

一般社団法人三陸野菜

所在地：気仙沼市波路上後原75-4

電話：050-6862-6907

E-mail：sanrikuyasai@gmail.com

URL：http://sanriku-vegetables.com



気仙沼

WEBマーケティング、PCスクール、 ITを活用した社会問題解決

清水 隼人



1983年4月7日生まれ、東京都出身。震災直後、自宅避難されている方々への物資支援活動を機に、気仙沼へ移り住み現地でのボランティア活動を実施。滞在中に友人とともに一般社団法人を設立。また前職の経験を活かし、インターネット関連事業を展開する合同会社を設立。

事業 概要

気仙沼の地元企業、個人からのWEBに関する需要が高まる中、その事業を展開する企業がなかったため、起業を思い立った。

現在の事業内容が、WEBサイトの製作の他、プロモーションを含めたWEBマーケティング事業、人材育成のためのパソコンスクール事業などを実施。また、地方での地域課題に対して、ITでソリューションを創造する事業にも取り組んでいる。



成果 展望

ホームページの制作、保守管理業務に関しては、概ね予定通りの実績となり、今後も需要に応じたサービス提供が可能と見込んでいる。

人材育成の業務に関しては、制作業務を優先したため予定通りの進捗ではないが、まずは事業安定化のために制作、保守管理業務の体制を強化したい。

将来的には、東北のWEBマーケティング企業の代表的存在となるとともに、地方IT人材の育成によるボトムアップもめざしたい。

変幻自在合同会社

所在地：気仙沼市館山2-3-46

電話：0226-25-8602 FAX：0226-25-8603

E-mail：info@hengenjizai.jp

URL：http://hengenjizai.jp

hengenjizai.jp
//変幻自在 合同会社

気仙沼

マルチコプターを使用した動画撮影・ 静止画撮影の編集、地域資源発信

石渡 久師

震災前よりWEBショッピングを通じて三陸、気仙沼の地域産品を販売しており、2011年より、気仙沼屋台村横丁に実店舗を構え、営業していました。地域産品の魅力を更に全国の皆様に伝えるべくホームページや仕組みを模索しております。



事業概要

webや写真に関わっておりましたが、海から見た三陸や空から見た地元などの映像がほとんど皆無でした。

その感覚と地域産品の発信を掛け合わせ、見たことのない映像を提供したいと感じ、合わせて被災したこの地方を映像に焼き付ける作業をしたいと強く感じました。

今現在は地元企業や生産者より受注を頂き、牡蠣の水揚げ作業や漁船の撮影など少しずつ活動の幅を広げております。



成果展望

本事業の目的は自然と人間をつなぐことであり、また多くの観光客や商品購入者に対し、より深い産地の背景や風景を映像として提供したいと考えております。

今まで伝えられなかった風景や思いを撮り、気仙沼、三陸地方をより良く伝え、情報発信の最先端技術を駆使し地元企業等の魅力を発信するお手伝いが出来ればと考えています。

有限会社リアスの国から

所在地：気仙沼市南町4-2-19
電話：0226-24-1366
E-mail：info@kuchubu.com
URL：http://kuutube.jp/



七ヶ浜

陶器製造で、地域産業・雇用の促進、 コミュニティの再生をめざす

千葉 透

七ヶ浜町に生まれ、育つ。宮城県地元企業の会社に20年勤務し、展示会の企画運営部署の長として、また営業においては多数のメーカーより全国表彰者として表彰を受賞している。また宮城県東部地域においては、小、中、高PTA活動、地域ぐるみ活動にも精力的に取り組み、東部地区、宮城県からの活動表彰地域学校関連に対するネットワークも築いてきた。



事業 概要

宮城県宮城郡七ヶ浜町には7つの浜がある。その浜も震災でほとんどが被災して、塩害で立ち枯れるなどした大量の松が瓦礫処理の対象として、粛々と処理をされている状況にあった。震災復興作業ともに並行して進めなければならないのが地域産業を創出と、コミュニティの再生であった。そこで、七ヶ浜地域において、これらの課題を解決するために、被災した木材などを燃料として、陶器を製造する窯場を設立した。販売用の作陶のほか、震災支援へ来町してくれた団体や観光客の陶芸体験、地域学校の陶芸体験学習の場としても活用する。



成果 展望

起業支援を通じて、事務所の確保や、窯焼きに必要な木材を置く小屋や、薪割り機など、事業に必要な環境の整備を行うことができた。地元住民による「七ヶ浜潮焼き」の製造、販売の他、地域内外からの体験活動の誘致にますます力を入れていきたい。



七ヶ浜 潮焼き（うしおやき）

所在地：宮城県宮城郡七ヶ浜町吉田浜字野山5-9
アクアリーナ二階
電話：022-357-7303



七ヶ浜

七ヶ浜でグラフィックデザイン製作、シルクスクリーン印刷事業

石川 洋平

愛知県岡崎市出身。多摩美術大学卒業。青年海外協力隊としてモザンビークの教員養成校で2年間美術を指導。帰国後七ヶ浜町に移住し、町づくりNPOの立ち上げ、手すき和紙再生事業、ピーチフェスの運営に携わる。



事業概要

起業の経緯は、「自分でハンドルを握って、納得の行くようにやってみたい」と思ったことでした。沿岸部での一年間の活動は主に支援という立場で、非常に学びの多いものでした。

この活動を通して、小さな独立した力の集合が緩やかで地に根ざした変化を形作っていく、という感覚を得ました。その上で、自分の好きなことを活かして同じような意識を持ったまだ見ぬ仲間達と関わりたいと思い、起業に至りました。

現在、ロゴ、パンフレット、ポスター、Webデザインの作製や、Tシャツのシルクスクリーン印刷事業などを営んでいます。



成果展望

今後の展望は、多様な人びとと関わり合いながら、心から喜んでもらえるような仕事をしていくことです。そしてそれらの仕事を通して、地域の生命力の底上げに貢献したい。

また、ご縁のあった七ヶ浜の魅力を、デザインというツールを使って発信していくことを目標としています。実現したいことは、ひたむきに技術を磨いていくことです。そしていつか自分のデザイナーとしての活動が、新たなデザイナーを育てる土壌になればと思っています。



heptagram

所在地：宮城県宮城郡七ヶ浜町境山2-9-57
電話：070-5324-5329
E-mail：ishikawayohey@yahoo.co.jp



南三陸

なかなか外出する機会のないお宅へ 出張で料理をお届けします！

藤島 博之



南三陸町の結婚式、宴会場の高野会館の料理長をしておりました。津波で会館は壊滅し、現在は漁業の直販所で臨時職員もしております。料理の腕を活かして、地域に貢献出来る方法が何か無いかと考え、外出する機会も少なくなった仮設住宅の方向けに、出張料理を行いたいと考えました。

事業概要

震災後の混乱もある程度おさまり、現在はみなさん仮設住宅での暮らしが続いています。津波の被害で町が無くなってしまったため、飲食をする店舗がなくなり、みんなで顔を合わせる機会も非常に少なくなりました。

仮設にお住まいの方々に何とか励まして、以前の様にみんなで笑って話す時間を持って欲しい！自分に出来る事として、出張料理で楽しい時間を演出出来ないかと考え、挑戦する事にしました。なかなか外出する機会のない方のお宅にこちらから伺って、料理をお届けします。



成果展望

調理の出来る車両を購入し、イベントの出店等から事業を開始しました。仮設住宅などにお住まいの方からも注文いただける様にチラシや町報などで、みなさんに知って頂く努力をしていきたいと思えます。

現在はありませんが、将来的には専用の厨房を設置して、より多くの注文にも対応して、どんどん自宅で料理を楽しんで頂ける様に行きたい。先日、上棟式のお祝いに料理を担当させて頂きましたが、冠婚葬祭の行事にあったものをこちらから提案して行く準備もしていきたいと思えます。

キャッツエンタープライズ

電話：090-2995-9177



南三陸

漁師が直接作る海鮮BBQ、 漁師の番屋！

村岡 絹子



震災以前より、学生の漁業体験等を受入れていましたが、震災後は中断。震災で漁業に使う作業場等を失いましたが、津波で流されはしましたが、運良く修理が出来た船を使って、主人とともに漁業体験を、少しずつ再開しています。

事業概要

色々な支援も頂き、養殖施設は8割は戻り、漁業体験等も試験的に開始出来るまでになりました。しかし、せっかく来て頂いた方々に海の幸を味わって頂く為の機会が無く、悔しい思いをしていました。今回、申し込ませて頂き、浜辺の近くで海産物を焼いてそのまま食べられるBBQ小屋を始めました。

私たちが、心を込めて作っている海の幸を是非多くの方々に楽しんで頂き、同じ浜で働いていた方にも働ける場所を作りたいと思っています。



成果展望

現在は国の支援による共同漁業の組合がある事もあり、週末のみの予約制で営業しています。

共同漁業の期間が終わったら本格的に多くの方々に広報し、漁船によるカキ、ホタテ等の養殖施設の見学とBBQのコースを楽しんで頂きたいと思えます。漁船による見学と食事を楽しんで頂く事で、海産物がどのように出来ているかを知って欲しいと思えます。

また南三陸町、志津川湾の海のみならず、楽しさを多くの方々に伝えて行ければと思っています。

漁師の番屋

所在地：宮城県本吉郡南三陸町戸倉字水戸辺38番(水戸辺漁港)

電話：090-4559-4235(村岡賢一)

080-2825-4667(村岡絹子)

URL：<http://www.ryoushi-banya.com>



南三陸

中高生の自習支援スペース TERACO！

小楠 あゆみ

東京でシステム開発会社を経営していましたが、震災直後に南三陸町へ。物資を配送に入りました。まだ色々な支援が必要な状況下でしたが、体育館にいた子どもたちのために、勉強を続けるためのスペースを開始したことをきっかけに現在の活動をスタートさせました。



事業概要

避難所であった体育館から活動が始まり、その後、町内のホテルの一室、現在の中学校、高校の近くへと、刻々と変わる状況に応じながら活動場所を移してきました。

定期テストや受験の準備のため勉強時間が、仮設住宅ではなかなか取れないと言う子どもたちのために自習支援スペースを開設しています。

当初は大学生ボランティアが教える形でしたが、現在では勉強した先輩が後輩を指導するスタイルも出てきました。

また、スペースを大人のためのホームページ製作教室等にも利用して頂いたり、美大出身の町内の方に絵画教室等も開いていただくなど、用途を広げています。



成果展望

現在の先輩が後輩の指導をするスタイルをさらに進め、若い世代につながりが生まれるようにしていきたいと思っています。

いままでは進学先や、その先のキャリアに関する情報が限られ、進路の選択肢が決して多くはない状態であったと思いますので、ボランティア大学生や先輩との係わりを通して、子どもたちが自分の可能性を信じて、納得のいく進路選択が出来るよう支えていきたいと考えています。

また地域の産業や企業の事を知らない子どもたちが大半なので、地域と連携して、将来を担う子供たちに地域の魅力を伝える仕掛けを作っていけたらと思います。

グランドラインズ

所在地：宮城県本吉郡南三陸町御前下35-2
(志津川中学校下、ファミリーマート様横)

電話：090-3062-3816

E-mail：info@grandlines.net

URL：http://grandlines.net/index.html



南三陸

豊かな南三陸の自然を感じられて 人々がつながり合う手仕事づくり

矢野 智子

南三陸産まれ南三陸育ち。高校を卒業後、神奈川、長野などの児童施設で働いていた。平成21年出産。子育てのために南三陸に戻るが半年後に震災に合う。就職予定の職場が被災し、仕事ができなくなり一度は町を離れたが、復興のために自分にもできることがあるかもしれないと地元に戻り現在の活動をはじめ。



事業概要

震災後、一度は町を離れたが、翌年に地元に戻った時、小さな子どもたちや女性が気軽に集まれる場所や機会が不足していると感じた。

そこで仮設、在宅、関係なしに誰でも気軽に参加できる編み物のお茶会を開催。みんなで集まってアイデアや技術を持ち寄りうまく出来た作品を商品化し、在宅ワークを必要としている女性の手仕事として展開。製作作品は手作り市などで販売もする。南三陸の自然を感じられる温かみのあるニット小物が主。



成果展望

活動を続けるうちに、子育て中の女性の他にも介護中だったり、高齢で在宅ワークを必要としている女性がたくさんいることがわかった。

一人暮らしの女性もみんなで集まる機会を楽しみしているので継続的に手芸のワークショップを開催していきたい。

商品に関しては南三陸杉と南三陸ひつじの羊毛のコラボレーションで地域ブランドになる作品作りを展開したい。

moco made (モコメイド)

所在地：宮城県本吉郡南三陸町志津川字廻館15-138

E-mail：suntomoco@gmail.com

URL：http://www.mocomade.com



南三陸

保護者が安心して子育てできる社会の実現を目的とした、母子支援 !!!

小川 紗絵子

長崎県出身の保育士。2009年、幼児保育学科を卒業後、乳児院・重症心身障害児施設にて4年間勤務。2013年6月よりボランティア団体に所属し、キッズサポートチームのリーダーを8ヶ月務めた。主に南三陸ママサークルもここの運営をサポート、預かり保育を実施。保育士としての経験を活かし、乳児向けの離乳食教室や幼児向けの絵本読み聞かせなどのイベント企画も行った。



事業概要

子どもを持つ母親たちと関わる中で、未満児の預け先が少ないことや土日祝日の預け先がないことを知った。

南三陸町・登米市在住の子どもを持つ方々を対象にアンケート調査を行った結果、53人中51名の方が託児所は必要であると回答。それを見て、託児事業を中心とした一般社団法人VOICEの設立を決意。現在は幼稚園の前後である早朝や夕方、土日祝日を中心に、きつずる一むボイスでの託児を行っている。

また、各種イベントへの出張託児やママたちの憩いの場作り等を目的とした南三陸ママサークルもここの運営のサポートを続けている。



成果展望

地域での子育てを目指して、子どもを「預けたい人」と「預かりたい人」が、子どもを「預けたり」「預かったり」できるように、まずは、最低限の保育の知識を持った保育サポーターと有資格者がともに託児のニーズに応えていける仕組みを形成していきたい。

また、それを実現するため、地元の子育て世代を対象に保育サポーター育成にも取り組む。そして、その保育サポーターを雇用し、地元の雇用に貢献していきたい。

その他にも、南三陸ママサークルもここの動きとして、ママたちで事業を起こしたいという動きがあるため、託児を通してサポートしていく。



一般社団法人VOICE

所在地：宮城県本吉郡南三陸町歌津大沼218-85

電話：090-6894-0531

E-mail：voice0531.319@gmail.com

URL：http://voice0531.org

南三陸

仲間とともに製品づくり 南三陸 縫い物工房みとべ

三浦 幸子



震災まではJF(漁協)みやぎ志津川支所戸倉出張所に勤務していました。震災後は、家と職場を失い、仮設住宅に移ってから支援で頂いたミシンをきっかけに簡単な縫い物から縫い始めました。まったくの素人から始めましたが、いまでは専門のミシンも導入し、バッグ、エプロン等製品の幅を広げています。

事業概要

仮設住宅にいた時に、NPOからの支援でミシンを頂いたのがきっかけでした。何もせず家にいるよりはと思って始めたミシンでしたが、全国のみなさんから注文をいただき、だんだんと多くの物を作れるようになって行きました。

今では、複雑なネコやキリンのぬいぐるみ等も製作しており、東京等で販売して頂いています。奈良コープさん等、まとまった数を注文いただけるお客さんでもきました。仕事する仲間を増やす為にも、以前にも増して頑張って製作し、技術の必要なものにも挑戦しなければと思っています。



成果展望

工業用のミシンを購入し、前よりも多くの種類の作業が出来る様になりました。現在は支援で頂いた生地等を中心に使っていますが、自分たちでも生地を選んで製品に活かして行きたいと考えています。

いまも近くの仲間と製品作りを行っています。もっと安定した販売先を増やして、縫い物を仕事にする仲間が増えて行けばと考えています。

製品のデザインや型紙作り、複雑な縫い目の処理等、まだまだ勉強している最中ですが、みんなで良いもの、長く使える物を作って行きたいと思えます。

縫い物工房みとべ

所在地：宮城県本吉郡南三陸町戸倉字水戸辺105

電話：090-4887-9778



南三陸

海の森 ホームステイ/体験/エスコート/ キャンプ場 /木のプロバイダー

Lehmann Frank



フロリダ大学で英語教育を専攻、合わせて人間と生き物のより良い関係について考えるEthnoecologyや植物学、海洋学を学んで卒業。来日後、英語教師、南三陸観光協会・ネイチャーセンターなどにて、の自然観察講師や森林ガイド・伐採製材講師を担当。震災後、荒砥の自分の森にセルフビルドで山小屋を建設し、『海の森ホームステイ』を起業。日本でグリーンツーリズム・インストラクター・エスコーター認定証取得。地元女性と結婚し息子と三人暮らし。

事業概要

私の家で行っているビジネスはエコツーリズムとグリーンツーリズムを合わせた物で南三陸とその周辺で行っています。私の家は国定公園に連なる県の公園のなかにあります。そこでは色々な活動が行えます。私はこの町で固有の生態系に関する知識を深めました。活動のあいだ私はインストラクター兼エスコート役をします。主に山の活動と海の活動を行っていますが、学生向けのホームステイや東北の他のエリアでの案内も行っています。活動を行う参加者は私のロッジで一晩ゆっくり休みます。ボランティアや、キャンプだけを行いたい人には安価に提供しています。最後に、大事な事を言い忘れましたが、私は地域の文化を参加者に紹介し、他の方を認める事で町に貢献しています。



成果展望

私のビジネスプランや夢は私たちの土地や町を使って、エコで持続可能な方法で地域に貢献する事です。参加者を楽しませ、町に紹介する事で収益を得たいと思っていますし、また地域の森林や砂浜を町の人のため、特に子供達のために守って行きたいと考えています。

一例として、私が良く行う活動の一つは立ち枯れた木の伐採と木材の粉砕です。結果として、地域のアーティストや大工に南三陸の木材を供給でき、同時に参加者が活動するうちに地域の森を美しく良い状態に保てます。



海の森

所在地：宮城県本吉郡南三陸町志津川字北の又25
電話：080-1857-4993
E-mail：cafe@doorwaytosmiles.jp
URL：http://kagikakko.jp/



南三陸

海での養殖漁業の体験学習・手ぶらで フィッシング・販売

高橋 芳喜

震災後、自宅や船などを流され、一時は漁業をやめることも考えましたが、全国からの応援もあり震災の年の秋から養殖を再開しました。これまで応援してくださった皆さんに応えられる様、量ではなく質で勝負しようとして手間加えた養殖漁業を目指し日夜奮闘しています。



事業概要

震災後、『海＝怖いもの』と考える子供たちが増えました。海の近くで生まれ育った自分としては、それはすごく悲しいことです。

少しでも、興味や関心を持ってもらいたいと友人や観光協会の方と話をしていた時に思い立ったのがスタートでした。

こちらで用意した釣竿などで釣りをしてもらい、少しでも三陸に興味をもってくれたらうれしいですし、体験学習を通して「海」を身近に感じてくれたらと思っています。

また、現在、漁師だけでは生活が厳しいため、若い仲間たちが海の仕事から離れてしまいました。こういった仲間を巻き込んで南三陸町の漁業を元気のあるものにしていきたいと考えました。



成果展望

これまで行ってきた体験学習や手ぶらでフィッシングに加え、季節ごとのプランを作っていきたいと考えています。例えば、春先の塩蔵ワカメ体験では、刈り取りからお客様へ届く塩蔵までの一通りの体験をしていただき、お土産に持って行くプランなどを通して消費拡大に繋がってけると嬉しそうです。また私個人だけではなく、南三陸町の宿泊施設や観光協会などと組むことによって、短時間で楽しめるプランや長期で南三陸町を知ってもらうプランなどを考えていきたいと思っています。1人や1家族からでも気軽に申し込めますので、ぜひ皆様1度遊びにいらしてください。驚き、感動、私たちが人の命を食べて暮らしていることなど実感できる素晴らしい体験と一緒にしましょう！！

高芳丸

所在地：宮城県本吉郡南三陸町歌津字田の頭117-2

電話：0226-36-2422

E-mail：yoshiki.hamanasu@gmail.com

URL：http://takayoshimaru.com



涌谷町

仮設を回って笑顔を届ける移動カフェ、 「スマイルカー」

川名 貴士

宮城県涌谷町出身の保育士。平成25年までは保育士として、県内の保育年勤務。震災後に始めたボランティアで仮設を回って、物資を運んだり、炊出しをやっていた時に、仮設での集まる場所の需要に気づき、移動カフェの開店を思いつきました。



事業概要

仮設住宅を周って感じた集まれる場所の需要と、食堂等の不足を地域の方から聞き、ごはんを出す移動販売車があれば良いのではないかと思いつきました。全国の移動販売をやっている方、また東京の移動販売店舗の訪問を多数行い、メニュー等を検討しました。

当初は、仮設住宅にも訪問しテスト販売していましたが、その後曜日を決めて行っています。また、他の販売の方に誘って頂き、お祭りやイベント中心に出店も始めました。メニューも当初より増えて、デザート等も取り扱い始めています。



成果展望

現在回っている仮設での販売、イベントの出店を継続しながら、地域の方々のコミュニケーションを促進し、少しでも孤立の防止や復興の助けになればと思います。いまのお客さんの声を聞きながら、得にメニューを増やして行きたと考えています。

長期的にみると、いまは皆さん仮設住宅にお住まいなので、そこまで行って移動販売を行うのが良いと考えていますが、いずれは町の復興にあわせて、地域の方々が集まりやすい場所に固定の店舗を建て、人が集まりやすいお店に行きたいと考えています。

スマイルカー

所在地：宮城県遠田郡涌谷町小里字大平33-30
電話：090-8618-3131



仙台

「体と遊びと暮らしにアプローチ」 する会社です

佐藤 明子



作業療法士養成校を卒業後、障がいを持ったお子様の支援に長年関わってきた経験を活かし「くらしの中でいずさを抱えた人を支えたい」「頑張っている支援者を応援したい」との思いから、医療・福祉制度には該当しないオリジナルのサービスを展開する会社を個人事業主として平成26年3月に起業、同年7月法人化した。

事業 概要

現在は、以下のような事業を行っている。

- ・個別セッション事業・施設支援事業
- ・発達支援コーチ初級講座・各種ワークショップ事業
- ・支援グッズ・教材（自助具・おもちゃ）の相談・販売サービス
- ・情報発信業務・介護保険制度を活用した住宅改修工事事業
- ・自費による住宅内軽補修・改善事業・車いすメンテナンス事業
- ・VOCAなどのコミュニケーション機器支援事業



成果 展望

医療・福祉・障害サービスに該当しないオリジナルサービスを展開しているので、支援対象エリアに制限がない。宮城県内全域でのサービス展開を検討中。地域に支援者が増えることによって、子ども達・保護者の方の生活を支えることができる。子ども達の見方を知り、味方になる人材を育成していきたい。

また、支援機器は様々あるのにも関わらず、情報が無く、困っている方も多い。SNSサービスなどを利用して情報提供を行っていきたい。

ま～ぶる株式会社

所在地：仙台市宮城野区田子字新入10-1 JKビル21 302号

電話：070-5327-3989 FAX：022-365-5776

E-mail：akiko@marble555.jp

URL：http://www.marble555.jp/



仙台

気軽に頼れるお手伝いさん 家事代行なら、あおばサポートへ

高橋 和香奈

仙台生まれ、仙台育ち。子どものころ、忙しかった母に変わって祖母に育てられたため、高齢者の日々のちょっとした不安や悩みなど「困った」とい声に何かできないかと考えるようになる。「介護保険適用外のサービス」と「女性の家事能力」を結びつけた仕事づくりを考えるようになり、地域支援団体として「あおばサポート」の運営を開始した。



事業概要

ヘルパーをお願いしたくても介護保険がなかなか適用にならず生活にちょっとした不便を感じながら我慢を強いられ生活する高齢者が増えている。

そこで、調理作業や、お部屋・玄関・水回りのお掃除やお洗濯などの「家事代行サービス」、調理作業や、お部屋・玄関・水回りのお掃除やお洗濯などの「ご用事代行サービス」、病院への通院やお買い物・観劇・お食事等、お1人では不安な場合の外出を補助する「付き添いサービス」を実施し、幅広い世代の生活や介護保険適用外のサービスを受けたい高齢者等を支援している。



成果展望

起業支援を受けることで、任意団体から一般社団法人への法人化や、ホームページ整備、備品の整備など行うことができ、今後の販路の拡大を行うための基盤を強化につながった。

今後は、事業を拡大し、地域社会に貢献しながら成功を修めたい。



一般社団法人あおばサポート

所在地：仙台市青葉区東照宮1-13-35-102

電話：022-342-8644

E-mail：info@aoba-s.net

URL：http://aoba-s.net



平成24年度 起業支援対象者 活動状況一覧

平成24年度内閣復興支援型地域社会雇用創造事業の支援を受けて、石巻・気仙沼エリアにおいて起業された132者が、平成25年度末時点で、どのような活動状況にあるかのまとめています。

(事業継続：113者、事業廃止：9者、連絡不通：8者、支援対象外：2者(宮城県外に転籍等))

■事業継続 (石巻)

No.	事業者名	代表者名		
1	おだってばりいで	秋山京子	21	ふれ・愛キッチン 石森こと美
2	カフェ1ねん1くみ	阿部美幸	22	テントー張りからの防災学校 勝田勝
3	株式会社阿友美	阿部友美	23	Any&Hany 勝又秀樹
4	特定非営利活動法人メディアージ	大矢中子	24	コンシェルジュ石巻 菊田貞吾
5	宮城ダイビングサービス Highbridge	高橋正祥	25	socialfarm 今藤正太郎
6	MUSUBIMARU	田中鉄太郎	26	ONEPARK 今野祐馬
7	ジャパンヘリテジ株式会社	田邊寛誠	27	フェアリードック 坂井純子
8	一般社団法人BIGUP石巻	原田豊	28	一般社団法人ディアス 佐々木真
9	一般社団法人イトナブ	古山隆幸	29	株式会社LAS 佐野大樹
10	特定非営利活動法人移動支援Rera	村島弘子	30	SocialRoseGarden 塩田光
11	特定非営利活動法人TEDIC	門馬優	31	TODAYscreenprintshop 須田雄介
12	一般社団法人海友支援隊	稲井龍弥	32	高橋野菜宅配 高橋和希
13	特定非営利活動法人DoTankみやぎ 地域政策研究行動会議	遠藤学	33	ORIENTATEPHOTOGRAPH 谷かをる
14	一般社団法人マーメイド	多田知弥	34	一般社団法人みらい地域振興協会 奈良坂京子
15	おらほの家プロジェクト	野津裕二郎	35	癒人ゆきの治療院 原子雪乃
16	一般社団法人りぶらす	橋本大吾	36	生花、野菜の宅配華歌 萬代由美子
17	株式会社Lalitpur	向田麻衣	37	クレヨンBOX 日野雅晴
18	明日華	赤坂智子	38	特定非営利法人ラブギャザリング 深尾尚子
19	株式会社シーティアイ	阿部恵一	39	伊達の屋台 藤原朋
20	おやつほかほか	綾部優子	40	Reeoffice 宮澤聖司
			41	リッソー理容 和田りち子

42	株式会社海の民	青木久幸
43	クリア	岩田昇太
44	Gouldグールド	近藤裕子
45	日和キッチン	天野美紀
46	折浜マザーズ	相澤裕子
47	コミュニティ・カフェ おちゃっこ湊	宇賀神加代
48	いやしろっ家(ち)	及川良市
49	農業生産法人合同会社曾呂美自然農場	今野昭彦
50	漁業生産組合浜人	西條剛
51	株式会社海遊	伊藤浩光
52	虹色ドラゴン株式会社	宇都宮雅博
53	キャンナス石巻 訪問看護ステーション	佐々木あかね
54	オフィス平	平塚恭子
55	東日本大震災語り部	山田葉子

■事業継続（女川）

1	NPO女川ネイチャーガイド協会	青砥祐信
2	ワンデー主婦&ワンデーシェフ セボラ	堂賀光枝
3	特定非営利活動法人みなとまち セラミカ工房	阿部鳴美
4	ディル・セ・おながわ株式会社	阿部美和
5	特定非営利法人アスヘノキボウ	小松洋介
6	女川町宿泊村協同組合	佐々木里子

■事業継続（気仙沼）

1	一般社団法人まちの誇り	茂木崇史
2	サウンドラボ音楽教室	斉藤洋介
3	マチビトトラベル	須之内孝弘
4	一般社団法人循環型ミネラル社会 ネットワーク	松本国昭

5	株式会社みちのくプランニング	藤井登
6	特定非営利活動法人TreeSeed	齋藤卓磨
7	一般社団法人気仙沼仕事創出プロジェクト	茂木正光
8	VOAR LUZ（ポアラス）	佐藤春佳
9	ニット工房編む〜るけいとや	庄司哲也
10	一般社団法人おぢのみ工房 子葉輝(つばき)	白幡まさえ
11	KesennumaSharkJeans.com	千葉成哉
12	こころとからだの癒しの空間 koko♥kara	村上朋子
13	パワーストーングリーン	村上緑
14	復康フットサロンよつば	米倉三喜子
15	有限会社オйкаワデニム	及川秀子
16	株式会社魚福	加藤彰
17	有限会社盛屋水産	菅野一代
18	えんやどっと	菊池幸江
19	株式会社カネグイ	佐藤亮輔 (熊谷公男)
20	一般社団法人気仙沼工房・藍	平手秀雄
21	特定非営利活動法人ピースネイチャー ラボ	松田憲
22	気仙沼マザーフード研究会	吉田信
23	一般社団法人KOTネットワーク 本吉	阿部寛行
24	特定非営利活動法人海への森を つくる会	菅原信治
25	一般社団法人匠の宿	菅原友子
26	株式会社ワンステップ	藤田孝子
27	ムラカミソフト	村上充
28	合同会社ほっとケア気仙沼	米倉由美子

■事業継続（南三陸）

1	たみこの海パック	阿部民子
2	ほったて小屋	成澤英子
3	まゆ工房彩（いろどり）	松岡由香利
4	農漁家レストラン「慶明丸」	三浦さき子
5	戸倉養蜂	阿部一郎
6	株式会社小野花匠園	小野政道
7	一般社団法人復興応援団	佐野哲史
8	金比羅丸	高橋直哉
9	夢未来南三陸協議会	千葉孝浩
10	一般社団法人カササギ	宮田宣也
11	ラムズ	渡辺啓
12	さんさカフェ	内海明美
13	美希の家	遠藤美恵子
14	シニアたすけあい南三陸	高橋憲行
15	有限責任事業組合南三陸の海	及川利幸
16	有限責任事業組合復興木工プロジェクト	清水信義
17	有限責任事業組合オクトバス君せんべい	高橋修
18	自然卵農園株式会社	大沼清功
19	ヤマキチ商店	村松まつ子

■事業継続（東松島）

1	株式会社フェニックスエレメント デイサービスぬくもり	貴田義人
2	Smile Dining～ダイニングレスト ラン&宅配弁当	阿部真純
3	有限責任事業組合まざーらいん	三浦美和子
4	復興パケツパーベキュー	門馬喜三
5	一般社団法人美馬森Japan	八丸由紀子

■事業廃止

地域	事業者名	代表者名
石巻	UkDesign	内海謙
石巻	一般社団法人被災事業所復興 支援室	古藤野智
石巻	大ちゃん福祉タクシー	佐藤大知
石巻	援農ボランティア隊	前園隆宣
石巻	鉄板焼・串揚げどんどん	三浦茂
気仙沼	地域支援事業MINATO	清水健佑
気仙沼	カフェ・ビー合同会社	村上稔
東松島	Relieffarmリリーフファーム	伊藤由美
南三陸	株式会社NYANGO	勝又伸一

■連絡不通

地域	事業者名	代表者名
石巻	GND (Gratitude Network Design)	金刺順稚
石巻	アイ・エス・FC	佐藤暁
石巻	一般社団法人地域力活性セン ター	山崎義勝
石巻	株式会社光騁舎	佐藤由理
女川	株式会社onagawafactory	山田雅裕
南三陸	一般社団法人うなつき屋	阿部祥子
南三陸	一般社団法人然	佐々木みき江
南三陸	有限責任事業組合地域連携プ ロジェクト	藤波雅浩

■支援対象外（宮城県外に所在地移転）

地域	事業者名	代表者名
岩手県	株式会社キミドリ	藤野里美
岩手県	一縁工房	菅原純子

平成25年度 宮城県 震災復興起業支援業務
(石巻・気仙沼エリア経営支援分) 報告集

発行：特定非営利活動法人石巻復興支援ネットワーク

〒986-0825 宮城県石巻市穀町12-18 石巻駅前ビル4階

Tel : 0225-23-8588 e-Fax : 022-774-1469

Mail : info@yappesu.jp URL <http://yappesu.jp>